

県医師連盟機関紙  
第20号  
発行責任者  
県医師連盟委員長 池田琢哉  
令和4年6月19日

# 鹿児島県医師連盟新聞

編集・発行  
鹿児島県医師連盟  
鹿児島市中央町8-1  
電話 099-213-1011  
FAX 099-213-1012  
印刷 南日本新聞開発センター

## 自見はなこ氏(全国比例区)を全力で支持

### 参院選 7月10日投票

参議院議員選挙は6月22日公示、7月10日投・開票の日程で行われる。この選挙には、元厚生労働大臣政務官で、現自民党女性局長の自見はなこ氏が2期目を目指して全国比例区から立候補する。自見氏は日本医師連盟参与でもあり、日本医師連盟が会内候補として、推薦している。鹿児島県医師連盟(池田琢哉委員長)は令和2年7

月いち早く自見氏の推薦を決定。郡市医師連盟などと連携を図りながら、支持活動を積極的に展開中だ。目標は、大量得票を得ての上位当選で、池田医師連盟委員長は「今回の選挙は、日本医師連盟、鹿児島県医師連盟の威信をかけた戦いになる」と決意を語っている。

も、その手腕が注目を集めている。数多くの医療が抱える課題とも取り組み、新生児期小児期の難聴対策、外国人医療問題、HPVワクチンの積極的勧奨再開などに尽力してきた。

両候補を激励して、全力で闘うことを誓った。「誰もが安心して生活ができる感染症や災害に強い、医療インフラの整備」、「必要な医療・介護・福祉が過不足なく受けられる社会づくり」、「子どもを安心して産み育てられる社会実現のための子ども庁創設」などが、主な公約だ。

### 自見氏、高位で勝利を

自民党の候補者として、全国比例区に立候補する自見氏は、2期目への挑戦となる。これまでの6年間、多くの医療政策に関わったほか、コロナ対策では、厚労省の対策本

部長代理として、クルーズ船「ダイヤモンドプリンセス号」の初期対応にあたり、乗員・乗客を救う一方、国内への感染拡大を防いだ。その活動は、関係者から、高く評価されて

いる。その後も、検査体制の充実、ワクチン治療の早期開発さらにはワクチンの接種推進などにも、積極的に取り組んできた。

また、子ども達の健やかな成長を切れ目なくサポートしていくための「子ども家庭庁」の創設に奔走。その結果が設置法案の国会成立に繋がっている。

このほか、多くの議員連盟に事務局の責任者として参加しており、若手議員のなかで

また、子ども達の健やかな成長を切れ目なくサポートしていくための「子ども家庭庁」の創設に奔走。その結果が設置法案の国会成立に繋がっている。



鹿児島を訪れた自見氏を激励する池田琢哉委員長

#### 自見はなこ氏のプロフィール

昭和51年2月15日長崎県佐世保市生まれ、福岡県育ち

略歴  
筑波大学国際関係学類卒業、東海大学医学部医学科卒業、東京大学病院小児科勤務、虎の門病院小児科勤務、日本医師会参与、日本医師連盟参与・日本小児科医師連盟参与、東海大学医学部医学科客員准教授、父・自見庄三郎氏の議員秘書

歴任  
比例代表(全国区)当選1回(H28)、厚生労働大臣政務官、参議院厚生労働委員会理事、自民党青年局長代理、自民党女性局長

趣味  
マラソン、読書、旅行、神社・仏閣めぐり、好きな言葉は「一生懸命」

#### 「医師会の力」が問われる選挙

県医師連盟委員長 池田琢哉

7月の参院選挙は、県医師連盟の組織力、医政への取り組みが問われる重要な選挙

になります。国の医療行政に我々の政策を反映させるには、自見候補の圧倒的勝利が必要です。そのために、先頭に立って、奮闘する決意であります。

自見候補は我々医師連盟が「この人なら」と自信をもって、国政に送り出せる人材です。政治家に必要な、潔白、謙虚、誠実を全て持ち合わせ、

個人名で投票を  
参院選比例区は、名簿の順次はあらかじめ定まっておらず、投票された「個人名」の投票数の多い順に、名簿の順番が並び替えられます。衆院選とは仕組みが違い、自民党と記載しただけでは、応援している候補者の名簿の順番が上がりません。十分留意して、投票の際には、必ず個人名を書いてください。

次代を担う政治家として、高い評価を得ておられます。勉強家でもあり、今や厚労行政に影響を与える政治家に成長しておられると、私は確信しております。

医療が大きな転換期にある今、我々自身として、「医政」に向き合わなければなりません。政治における力は得票数です。これまでの最高票を目指して、県医連が一丸となって闘い抜くことが勝利につながります。共に頑張りましょう。



安心の医療、介護、福祉を  
次世代へ渡したい



参議院議員・医師

日本医師連盟参与

# 自見はなこ



## 国民皆保険を守り、いのちと健康を守る政策を実現します！

平時から新興感染症にも対応できる  
万全の医療体制づくりを

誰もが安心して生活ができる  
感染症や災害に強い  
医療インフラを整備します！

未来を見据えた  
医療・介護・福祉政策を

必要な医療・介護・福祉が  
過不足なく受けられる  
社会をつくれます！

縦割りを越えた  
新しい「こども庁」の創設を

子どもを安心して産み育てられる  
社会の実現のために  
『こども庁』が必要です！

- 新型コロナウイルス感染症対策における有事の医療と、通常の診療を中心とした平時の医療を両輪として、国民の生命と健康を守ります
- 希望する人へのワクチン接種を推進します
- 新型コロナウイルス感染症に懸命に対応している医療従事者に報います

- 公的医療保険制度による国民皆保険を堅持します
- 国民間で医療・介護の享受に格差が生じないように、更なる充実・強化を図ります
- 健康寿命の延伸に取り組みます
- 皆様の命や健康を守るため、医療・介護に係る過度の規制緩和に反対します
- 医師・看護師の偏在解消を図ります

- 子ども関係予算を倍増し、欧州先進国並のGDP比3%程度を目指します
- 医療、教育、福祉、子育て支援など、様々なこども政策を総合的に強化するため「こども庁」を創設します
- 子ども政策の責任者として、強いリーダーシップを発揮する専任大臣を求めます



新型コロナウイルスワクチン接種にて、問診など医師としても活動



令和元年9月～令和2年9月 厚生労働大臣政務官を歴任  
(第4次安倍第2次改造内閣)

「こども庁」創設に向けた特設サイトを開設しました。



「こども庁」の創設を！  
勉強会のこれまでの内容、提言全文、ウェブアンケートの結果と分析などがご覧になります。  
<https://www.child-department.jp/>

